

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8454 横浜市中区住吉町4-42-1

横浜市青少年育成センター

TEL 045-662-4170 FAX 045-662-7645

ホームページ / <http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/>

2007年 1月発行 No.32

横浜市と協定を締結！ —災害時の災害ボランティアセンターを市と協働で開設—

昨年11月に、当ネットワーク会議では、横浜市と協働で「災害ボランティア受け入れ・派遣体制づくりガイドライン」を作成いたしました。このガイドラインを実行性のあるものにするため、今年度は運営委員会において横浜市災害ボランティアセンターの設置や運営について協議してきましたが、このたび、「横浜市災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定書」を横浜市と締結する運びとなりました。

この協定書では、横浜市において災害対策本部が設置された場合、市は横浜災害ボランティアネットワーク会議に横浜市災害ボランティアセンターの設置・運営を要請し、同ネットワークはセンターの設置ならびに運営を担います。市災害ボランティアセンターの設置場所は、横浜市社会福祉センターとしていますが、センターが罹災し、設置が困難な場合は、市はこれに代わる場所を提供することとなっています。なお、市災害ボランティアセンターの運営に必要な経費は原則として市が負担します。

協定は、あくまでも骨格的な内容ですが、予測できない災害に少しでも早く対応するため、まずはボランティアセンターの設置・運営について横浜市と協定書を締結し、その後はネットワーク会議全体で横浜市と設置・運営の詳細について進めていきたいと考えています。

2004年 12月

横浜災害ボランティアネットワーク会議のメンバーが災害救援で訪れた新潟県川口町災害ボランティアセンターでのボランティア受付風景



インフォメーション

各区のネットワークが参集！

— 第1回区ネットワーク連絡会 開催 —

12月7日に「第1回区ネットワーク連絡会」を横浜市青少年育成センターで開催しました。

「連絡会」には、各区のネットワーク組織や区役所、区社会福祉協議会の職員44名が参加。各ネットワーク組織の運営状況や課題、ネットワーク組織の設立準備について情報交換がなされました。「設立準備会を立ち上げる際に、どのような団体に声をかけたらよいか？」といった質問や、事務局の設置の経緯について尋ねる場面もありました。吉村代表からは「ネットワーク組織を設立する際には、自助共助の意味から要援護者の施設や、さまざまな経験を蓄積しているボーイスカウトやガールスカウトなどの青少年団体、大学、生活協同組合にもぜひ声をかけてほしい」といったアドバイスがありました。

最後に、1月2月に開催される各区でのシミュレーション事業や「災害ボランティア・コーディネーター講習会」について情報提供されました。



鶴見区での「災害ボランティア・シミュレーション訓練」



昨年度のシミュレーション事業より

当日の見学やボランティア役を募集します！早朝の訓練ですが、短い時間の中で区役所の職員とボランティアが協働して実施する訓練です。

日 時	1月19日(金) 7:00~8:45
会 場	鶴見区役所1階
内 容	ボランティアセンターでの受入れ・送り出し訓練(早朝訓練)
参加費	無料
連絡先	鶴見区災害ボランティアネットワーク・事務局 鶴見区社会福祉協議会 電話:045-504-5619

「災害ボランティア・コーディネーター講習会」(初級編) 参加者募集!

この講習会では、ボランティア・コーディネーターとしての基礎的な考えやスキルを学びます。ぜひ、ご参加ください。

日 時	2007年1月21日(日) 9時30分~16時30分
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室F(桜木町駅前)
対 象	災害時のボランティア・コーディネーターに興味・関心のある方
定 員	30名(先着順)

内 容	<p>○災害時のボランティア活動について 阪神・淡路大震災や新潟県中越地震でのボランティア活動等を紹介します。</p> <p>○災害時のボランティア・コーディネーターの役割について ボランティア・コーディネーターとは何かを学び、災害時のボランティア・コーディネーターの役割について考えます。</p> <p>○シミュレーション「災害ボランティアセンターでのボランティア受付から派遣まで」 災害ボランティアセンターにおけるボランティアの受付から派遣までの動きを体験しながら、ボランティアセンターの動きやコーディネーターについて学びます。</p>
講 師	横浜市災害ボランティアネットワーク委員会運営委員 他
参加費	500円(当日お持ちください。)
申込み	<p>「住所」「氏名」「電話番号」「所属団体」を明記のうえ、下記事務局に電話・FAXまたはメールにより申し込みください。【先着順】</p> <p>事務局：財団法人横浜市青少年育成協会 電 話：045-662-4170 FAX：045-662-7645 E-mail：saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp</p>
主 催	横浜災害ボランティアネットワーク会議

金沢区での「災害ボランティア・シミュレーション訓練」

当日のボランティア役を募集します！

日 時	2月10日(土) 9:00~15:00
会 場	いきいきセンター金沢 (京浜急行線「金沢文庫」駅下車徒歩8分)
内 容	ボランティアセンター立ち上げ訓練/ ボランティア派遣のコーディネーター訓練
募 集	当日、全国から馳せ参じたボランティア役を募集
参加費	無料
連絡先	金沢区災害ボランティアネットワーク・事務局 金沢区社会福祉協議会 電話：045-788-6080



昨年度のシミュレーション事業より

港北区での「災害ボランティア・シミュレーション訓練」

当日のボランティア役を募集します！



昨年度のシミュレーション事業より

日 時	2月17日(土) 10:00~16:00
会 場	港北区福祉保健活動拠点3階 多目的研修室 (東横線「大倉山」駅下車5分)
内 容	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練/ ボランティア・コーディネーターの役割理解と実践
募 集	当日、全国から馳せ参じたボランティア役を40名募集
参加費	1人 500円(保険代、資料代として)
連絡先	港北区災害ボランティア連絡会・事務局 港北区役所総務課庶務係 電話：045-540-2206

全国ボランティアコーディネーター研究集会 (JVCC) 2007 が開催されます! (予告)

毎年開催されている「全国ボランティアコーディネーター研究集会」が、3月2日(金)～4日(日)、上大岡の「ウィリング横浜」で開催されます。本集会は、全国のボランティア・コーディネーターが分野を超えて集まり、コーディネート上の課題や展望について、意見交換、協議の場としてまた、スキルや知識を磨く場として定着しています。

横浜で開催するにあたり、災害に関する分科会(「災害ボランティアセンターを運営する人材の育成について考えよう」)も開催される予定です。詳しいことは事務局までお問い合わせください。

《申込・問い合わせ》 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
電話：045-847-6671 FAX：045-847-6676
E-mail：jvcc2007@yokohamashakyo.jp

ボランティアセンターを運営する人材の育成について考えてみよう ～被災者中心の災害ボランティアセンターとするために～

災害ボランティアセンターでは、災害発生から様々なことがめまぐるしく起こります。災害ボランティアセンターの運営の原則として、「被災者支援」「地元主体」「協働」が言われていますが、コーディネーターには、この原則にもとづき、調整力・交渉力・協働力・決断力・見通し力・即断力など、総合的な力量が求められます。

本分科会では、災害ボランティアセンターの運営に求められるスキルとそのスキルに応じた研修のあり方について、事例などを通じながら深めていくこととします。

- 日 時 2007年3月3日(土) 13時30分～17時
- 定 員 30人
- 対 象 災害ボランティアセンターの運営にかかわりのある方
災害ボランティアセンターコーディネーター研修会等を企画する方
- 講 師 安藤 雄太(東京ボランティア・市民活動センター 副所長)
- 事例発表者 清水 慈子(静岡県ボランティア協会)
他2人 調整中

■ 会費納入のお願い!

横浜災害ボランティアネットワーク会議の様々な活動は、会員の皆様の会費で賄われています。会員として年会費の納入にご協力ください。

【お詫び】

本紙30号の会費納入済み団体・個人覧に、中川辰也さんのお名前を掲載すべきところ、掲載せずに編集・発行してしまいました。お詫びして訂正いたします。



運営団体

学校法人岩崎学園	神奈川県生活協同組合連合会
金沢区災害ボランティアネットワーク	ガールスカウト横浜市連絡協議会
港北区災害ボランティア連絡会	鶴見区災害ボランティアネットワーク
財団法人横浜市国際交流協会	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会
社団法人横浜市身体障害者団体連合会	財団法人横浜YMCA
財団法人横浜市青少年育成協会(事務局)	